

島根県公立大学法人評価委員会からの平成20年度業務実績に関する評価を受けての改善策

<p>評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)</p>	<p>島根県立大学の改善策</p>
<p>地域貢献との関係では、これまでも各種地域貢献事業に積極的に取り組まれているところであるが、学生が身近な地域社会に目を向けるようにし、地域課題の解決に取り組む意欲を持つようにしたり、大学の教育研究活動の中で地域振興のための実践的な提案を行うなど地域の活性化に資する活動に一層取り組まれることを期待する。</p>	<p>大学憲章の制定 ご指摘のとおり、地域の活性化に資する活動に一層取り組みたいと考えている。 この取り組みを推進するためには、全学の共通の意識になるようにする必要があるので、今回制定した大学憲章の5つの柱の1つとして、以下のとおり地域貢献を掲げている。 今後、この大学憲章を周知するとともに具体化するための取り組みを実施する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【島根県立大学憲章(抜粋)】 3. 地域の課題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を積極的に支援して、地域に貢献する</p> <p>島根県立大学は、地域に開かれた大学として、その保有する豊かな知的資源を活かし、個性的で 実践的な地域研究を市民や学生と連携しながら推進し、また、地域活動に積極的に参加すること によって、地域に貢献する大学となることをめざす。</p> </div>
<p>GPの獲得、高水準の志願倍率・就職率等、顕著な成果が上がっているが、それが十分情報発信されていないため、広く県民の理解を得ているとは言い難い状況である。今後は大学の魅力を積極的にアピールし、より地域に愛され、必要とされる大学を目指されたい。</p>	<p>学長定例記者会見の実施 学内外において幅広く行われている教育、研究、社会貢献等に関する情報を一元的に取りまとめ、様々なメディアを通して、より効果的にPRができるよう平成21年6月から毎月1回(原則:第2週の火曜日)「学長定例記者会見」を行うこととした。 ホームページの改善 ホームページについては、学内で検討した結果、必要な情報がすぐに取り出せないなどの根本的な問題があったため、来年度に利用者の利便性が向上するよう改善することとした。</p>

<p>評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)</p>	<p>島根県立大学の改善策</p>
<p>全学運営組織としてFDセンターが設置され、全学的に授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等が実施されているが、短大部松江キャンパスにおいては授業評価アンケートにおける回答率が前年を下回っていることから、回収率の向上を図られるとともに、今後は、アンケート評価等を踏まえ、具体的な改善行動(アクション)に結びつけるための取組を期待する。 FD=ファカルティ・ディベロップメントの略。授業の内容・方法の改善を図るための組織的取組</p>	<p>(松江キャンパス) 授業評価アンケート調査方法の変更 平成20年度に実施したwebによる調査方法を廃止し、授業担当教員による紙ベースでの方法に変更した。(平成21年度前期 回収率93.2%) 学外のFD研修会へ参加(FD委員1名。報告書提出) 平成21年度大学コンソーシアム石川SD研修会 地域に貢献できる大学づくりと活力ある職員育成 2009.12.19.金沢 松江キャンパスFD研修会を開催 演題「シラパスってなに?」講師/島根大学教育開発センター 森朋子准教授 2010.01.06/参加者数30名(参加率93.8%)</p>